



# 田んぼわらしの ささやき

## 田んぼ 10年だより

第4号

2015.12.1 発行



田んぼの生物多様性向上10年(略称:田んぼ10年)ニュースレター  
発行: NPO法人ラムサール・ネットワーク日本(ラムネットJ) 水田部会  
所在地: 〒110-0016 東京都台東区台東 1-12-11 青木ビル 3F  
TEL/FAX: 03-3834-6566 電子メール: info@ramnet-j.org  
ホームページ: <http://www.ramnet-j.org>

### 目次

田んぼ10年のこれまでとこれから

- 1 田んぼ10年プロジェクトのあゆみ 船橋礼二 ..... 1
- 2 田んぼ10年プロジェクトこれからの計画 安藤よしの / コナギを愛でて食べる会に参加して 吉田秀幸 ..... 2
- Series 各地の活動紹介 奈良県立御所実業高等学校環境緑地科「生物多性の保全」研究班 ..... 3
- 各地の活動紹介つづき NPO 法人小田原食とみどり / 田んぼ10年認定事業紹介 / 新規参加者紹介他.... 4



### 田んぼ10年プロジェクトのあゆみ

NPO 法人田んぼ・RNJ 田んぼ部会会員 船橋玲二

2010年に名古屋で行われた生物多様性条約のCOP10では、環境を大切にしていこうという思いが、熱を帯びて伝わってくるほどの盛り上がりを見せました。このとき採択された「愛知目標」は、環境を大切に整えながらでないと人類の存亡に関わるので、社会の仕組み自体を変えていこう!という20項目からなる行動計画です。わたしたちは、生物多様性に富んだ「田んぼ」を活動フィールドにしてきましたから、「愛知目標」の目指す社会を田んぼに関連する部分から実行していこう!と始まったのが「田んぼの生物多様性向上10年プロジェクト」(以下、「田んぼ10年プロジェクト」とする)です。2013年2月には本格的な活動に移すため、キックオフ集会を行いました。このとき『田んぼの生物多様性向上10年プロジェクト 行動計画2013』を配布し、「水田目標」も示されました。

ます。アジア地域には生きものにあふれた伝統的な稲作文化がありますし、南米やアフリカでもお米は重要な食糧となっています。Tamboを通じた地域の環境づくり、生物多様性向上の取り組みが広がりつつあります。

表1 田んぼ10年活動のあゆみ(年表)

年・月	おもなできごと
2008・11	・ラムサール条約締約国会議(Ramsar/COP10) →湿地システムとしての水田の生物多様性の向上(水田決議)の採択
2009・1	・水田決議円卓会議準備会(農水省・環境省・国交省・ラムサール・ネットワーク日本による意見交換の場)第1回会合
2010・10	・生物多様性条約締約国会議(CBD/COP10、名古屋) →愛知目標や名古屋議定書の採択
2010・11	・田んぼの生物多様性向上10年プロジェクトの立ち上げ
2010・12	・国連にて2011年~2020年を「国連生物多様性の10年」とする採択
2011	・「田んぼ10年プロジェクト」が「にじゅうまるプロジェクト」に参加
2012・7	・Ramsar/COP11(ルーマニア ブカレスト)
2012・9	・田んぼ10年プロジェクトが国連生物多様性の10年日本委員会(以下「UNDB-J」とする)認定連携事業となる
2012・10	・生物多様性条約締約国会議(CBD/COP11、インド ハイデラバード)
2012・11	・田んぼの生物多様性向上10年プロジェクトの行動計画づくりワークショップ
2013・2	・田んぼ10年プロジェクト・キックオフ集会(栃木県小山市)『田んぼの生物多様性向上10年プロジェクト 行動計画2013』作成
2013・8	・第5回人と野生動植物の共生を考えるついで/田んぼの生物多様性向上10年プロジェクト交流会in登米(宮城県登米市)
2013・10	・『田んぼ10年プロジェクト実施の手引き 現場で進める水田の生物多様性の維持と向上 すぐにもできる具体策 水田目標1、7、8』作成
2013・11	生物多様性アクション大賞2013審査委員賞受賞
2014・2	・田んぼわらし誕生 ・国東半島宇佐地域世界農業遺産生物多様性シンポジウム ~世界農業遺産の先進事例に学ぶ~(大分県杵築市) ・にじゅうまるプロジェクト年次大会(大阪市)
2014・9	・『田んぼ10年だより~たんぼわらしのささやき~』(田んぼ10年プロジェクト・ニュースレター)の創刊号発行
2014・10	・生物多様性条約締約国会議(CBD/COP12、韓国 平昌)
2015・2	・『田んぼ10年だより~たんぼわらしのささやき~』第2号発行
2015・6	・Ramsar/COP12(ウルグアイ プンタ・デル・エステ)
2015・8	・『田んぼ10年だより~たんぼわらしのささやき~』第3号発行



CBD/COP10 田んぼ公式サイドイベント

田んぼ10年プロジェクトには、農家、市民グループ、食品に関わる企業、行政など実にさまざまな立場の方々に参加いただいています。多様な生きものを育む田んぼは、同時に多くの人と人をつないでいることに改めて気づかされ、感謝、感謝の連続です。現在、参加登録されている個人・団体は88件ですが、もっともっと多くの方に参加していただき、活動の輪が広がっていくことを目指しています。プロジェクト・キャラクター「田んぼわらし」は生きものあふれる田んぼに暮らし、私たちがそっと見守っています。田んぼわらしに会える田んぼを全国に増やしていきましょう。

海外でも田んぼ10年プロジェクトの活動は注目されてい



## 田んぼ 10 年プロジェクトこれからの計画

ー 2020 年愛知ターゲット達成年まであと 5 年ー

ラムサール・ネットワーク日本 安藤よしの

田んぼ 10 年プロジェクトは、愛知ターゲットの田んぼ版（水田目標）を達成し、生きもので賑わう田んぼ環境を取り戻すことを目指して活動しています。国連も 2011-2020 年を「国連生物多様性の 10 年」と宣言し、あらゆる人々に、愛知ターゲットの達成を呼びかけています。

愛知ターゲット達成の年、2020 年まで残りあと 5 年、ラムネットJは、田んぼ 10 年のこれまでの活動をレビューし、目標達成を目指してもっと仲間を増やし、取り組みを強化していきたいと考えています。田んぼ 10 年に集まり、活動されている皆様のさらなるご協力をよろしくお願いいたします。

### ■ 地域集会や全国集会のお知らせ

参加団体間の交流を深め、活動を強化・充実させるために、活動中のみならず地域で直面している問題やその解決方法などについて意見交換します。田んぼ 10 年プロジェクト登録数は現在 90 団体/個人ですが、2020 年の達成年までに登録数 500 を目指します。また、これまで登録者の少ない地域や海外、特にアジア・アフリカ・中南米での稲作りに生物多様性向上が取り入れられるように、活動を広げていきます。会の詳細が決まり次第、チラシや ML 等でお知らせいたします。



#### ① 地域交流会 琵琶湖（滋賀・京都）

日時：1 月 23 日（土） 13:00～17:00

場所：京都教育文化センター 1F（103 号室）

（前日に地元農業者によるクロード会合が野洲市コミュニティセンターで開催）

#### ② にじゅうまる COP2 名古屋（愛知県）

日時：2 月 20・21 日（土・日）

場所：名古屋大学野依会館

21 日 分科会時間 9：30～16：00

タイトル：「田んぼ 10 年プロジェクトの歩みと水辺の生きものがつなく田んぼと干潟」

#### ③ 地域交流会 豊後大野（大分県）

日時：2 月 27 日（土） 13：00～16：00

場所：エイトピアおおの小ホール

タイトル：「生きものあふれる田んぼと地域づくりシンポジウム」（仮）

#### ④ 田んぼ 10 年全国集会 秋葉原（東京都）

日時：3 月 13 日（日） 13：00～16：30

場所：AP 秋葉原

## ■【エコプロダクツ 2015】に出席

2015 年 12 月 11 日～13 日に、東京ビッグサイト（有明）で開催されるエコプロダクツ 2015 の NPO・NGO コーナーにおいて、ラムサール・ネットワーク日本は、田んぼ 10 年プロジェクトのポスター展示やクイズラリーなども実施する予定です。



### 「コナギを愛でて食べる会に参加して」

気仙沼市立 大谷小学校 吉田秀幸

8 月 20 日は無農薬栽培の田んぼに生えるコナギの収穫が始まりました。収穫とはいっても、水稲栽培でいうところの除草作業です。しかし、地域コーディネーターの小野寺さんに「除草ではなく食べ物の収穫と考え方を変えると活動が楽しくなる」というお話を伺うことで、考え方を改めて活動に参加することができました。

小一時間ほどで作業は終わりました。参加者全体で約 2 割ぐらいの面積しか収穫することができませんでした。全体の収穫（除草）が終了するのはかなりの時間がかかりそうだと感じましたし、一人では途中であきらめてしまうかもしれないとも思いました。戦前の農家の方々はこのような辛い作業を食を守るために毎年されていたのだなあと思う下がる思いでした。

コナギを試食してみると、臭みがなく様々な料理に活用できるのだと感じました。また、無農薬であれば、自然に田んぼに生える栄養価の高い食品であるということも分かりました。

今回の事業に参加して、「無農薬や減農薬栽培をすることで、主食の米の収穫量には差が出るのが考えられるが、それを食べる我々への安全性が高まり、その田んぼをすみかとする様々な動植物の環境が改善され、人、環境、地球それぞれに好影響が期待される活動」であることを、実感することができました。

ありがとうございました。



田んぼの淵に生えるコナギを収穫



コナギで作った料理を皆で試食する



# 各地の活動紹介

登録会員の活動をご紹介します。

奈良県

## 「田んぼの水族館 in 御所実業高校」

私たち「生物多様性の保全」研究班は、「生物多様性ならプロジェクト」として、橿原市昆虫館や同館ボランティア虫いっぱいの里山づくり隊、そして奈良県くらし創造部景観・環境局景観・自然環境課、奈良県農林部農村振興課等の行政機関と連携もしくは協業しながら、愛知目標に沿いながら様々な活動を行っています。2012年9月には、広範囲の取組と連携が評価され国連生物多様性の10年日本委員会から連携事業として認定（第1弾）も受けました。「田んぼの水族館 in 御所実業高等学校」は田んぼの生物多様性の普及を目指して設置しました（写真1）。



写真1 田んぼの水族館 in 御所実業高等学校

「田んぼの水族館」は、県農村振興課の田んぼの生物多様性の普及事業の一つで、私たちもこの事業に参加し協力しています。今回の「田んぼの水族館 in 御所実業高等学校」については、同課より名称使用の許可を頂いています。

「田んぼの水族館 in 御所実業高等学校」は、玄関に設置しています。当初は水槽を5、6台並べる予定だったのですが、電源や水漏れなどトラブルが起きた場合のこともあり、最終的に90cm水槽1台での開館となってしまいました。水槽が1台となってしまったので、バックヤードにいる生き物を90cm水槽に交代で入れることで、できるだけ多くの種類の田んぼの生き物を見せようとしています。90cm水槽の上には、現在水槽に入っている生き物が分かるように表示しています。金魚や熱帯魚の水槽と違って、中に入るのは地味な生き物ばかりですが、90cm水槽の前で足を止め、生き物を探している人をよく目にします。学校のすぐそばの用水路に、たくさんの種類の生き物がいることに多くの人が驚いていました。また、学校でイベントがあるときはバックヤードも公開しています。バックヤードには、水深や陸場、食性の問題で90cm水槽には入れることのできない爬虫類や両生類、水生昆虫もいます。少しでも興味のあるなら、見て楽しいのはバックヤードかもしれません。そこで、私たちはバックヤードの生き物も見せようため、近隣の小学校やイベントを回り「出張！田んぼの水族館」も開催しています（写真2）。



写真2 出張！田んぼの水族館（御所市立秋津小学校）

## 奈良県立御所実業高等学校環境緑地科 「生物多様性の保全」研究班

私たちの学校の周りには、田んぼがたくさんあり貴重な生き物もたくさん残っています。昨年、「田んぼの水族館」に参加する前の予習として学校周辺の用水路で生き物調べを行ったところ、環境省準絶滅危惧種ナガオカモノアラガイがたくさん見つかりました（写真3）。



写真3 ナガオカモノアラガイ（環境昇順絶滅危惧種）

学校周辺は以前からも生き物調べを行っていましたが、用水路を中心に生き物調べを行ったところ、レッドリストに載っている生き物がたくさん見つかりました（表1）。

表1 本校近くで発見した貴重種

種名	カテゴリー	確認日
ニホンイシガメ	環：準絶滅危惧 県：絶滅危惧種	2014年 12月26日
ニホンスッポン	環：情報不足 県：情報不足種	2014年 9月30日
ミナミメダカ	環：絶滅危惧Ⅱ類 県：希少種	2014年 10月20日
ギギ	環：なし 県：希少種	2012年 10月7日
ナガオカモノアラガイ	環：準絶滅危惧 県：なし	2014年 6月17日
オグルマ	環：なし 県：絶滅危惧種	※1
ササバモ	環：なし ※2 県：なし	2014年 9月4日
マツカサスキ	環：なし 県：絶滅寸前種	2014年 9月4日

そして、私たちが調べている用水路は、素掘りのところがたくさんあります。レッドリストに載っている生き物が見つかったのは、すべてこの素掘りの用水路とその周辺です。そこで、私たちは素掘りの用水路が少しでもきれいに保たれるようにと、今年から毎週火曜日に清掃活動を行っています（写真4）。



写真4 素掘り用水路の清掃活動

この素掘りの用水路がこれから先もずっと生き物がたくさんいる用水路であってほしいと願っているところです。私たちの活動記録は、[http://blogs.yahoo.co.jp/ffj\\_sgfp](http://blogs.yahoo.co.jp/ffj_sgfp) で公開しています。ぜひご覧ください。

小田原食とみどりは、たんぼの学校参加者に生物多様性を重視した稲作を指導しています。昨年は東京大学鷲谷先生の「世界一田めになる学校」に圃場を提供し、4県の子供たちが合同で活動しました。たんぼの学校の参加者層は幼児からシニアまで幅広く、10年間、定点でいきもの観察を続けています。専門家にインストラクターを依頼し、ボランティアスタッフとともに実施しています。耕作放棄地を復田したり、耕作放棄地になる寸前の田んぼを借りて、合計7枚の田んぼを農薬・化学肥料を使わずに耕作しています。



子供たちの生きもの観察の様子

- ・田んぼ10年プロジェクトからUNDB-J連携推進事業として認定された団体の取り組み
  - ・ラムネットJの推薦によりUDB-J連携事業として認定されています。( <https://undb.jp/authorization/> )
- 今後も、田んぼ10年登録団体の事業が認定されるよう、推薦していきます。

UNDB-J 連携推進事業

時期	プロジェクト名	団体名	県
第1弾	田んぼの生物多様性向上10年計画	ラムサール・ネットワーク日本	東京都
第3弾	食農環境プログラム	伊豆沼から全国へ超元気を発信する協議会 ・有限会社伊豆沼農産	宮城県
	グリーンオイルプロジェクト	一般社団法人グリーンオイルプロジェクト	栃木県
	コウノトリと共生するまちづくり事業	豊岡市	兵庫県
	コウノトリも住める自然と共生する地域づくり	株式会社野田自然共生ファーム	千葉県
第4弾	「生きもの豊かな田んぼ」の取り組み	株式会社アレフ	北海道
	環境保全型農業の推進と生物多様性登米戦略	登米市	宮城県
	ラムサール条約湿地登録 渡良瀬遊水地の賢明な活用推進事業	小山市	栃木県
	生きものも育む自然共生型田んぼづくり	九重ふるさと自然学校 一般社団法人セブン-イレブン記念財団	大分県
第5弾	生きものにぎやかな河北潟プロジェクト	河北潟湖沼研究所	石川県
第6弾	いきものたんぼプロジェクト	いきものたんぼプロジェクト	宮城県
第7弾	自然と農業と人が共生する村づくり	大潟村	秋田県

■田んぼ10年プロジェクト 新規参加者のご紹介

No.	都道府県		参加者名
86	滋賀県	団	須原魚のゆりかご水田協議会
87	滋賀県	個	青田朋恵
88	宮城県	個	鈴木 康
89	神奈川	団	NPO 法人小田原食とみどり
90	神奈川	個	安室 知

■アンケート回答のお願い m(\_ \_)m

みなさまの取り組みについて達成度や課題等を同封のアンケートに記入してご返信ください

**締め切りは12月末日とさせていただきます。**

アンケートの結果は2月に開催されるにじゅうまるCOP2(於名古屋大学)と、3月に開催予定の田んぼ10年全国集会(於東京)で発表し、2020年に向けた今後の活動に活用します。ご協力お願いします!

PDFを希望されている方も今回は送付しています。

アンケート用紙他、チラシ等の送付がありましたので、今回は、PDFでの配信を希望されている団体・個人にも、紙媒体で送付させていただきました。ご了承ください。

連絡先/事務局

ラムサール・ネットワーク日本



info@ramnet-j.org

FAX:03-3834-6566

